プレナスなでしこリーグ 1 部の得点分析

～ヴィアマテラス宮崎と バニーズ群馬 FC ホワイトスターを比較して～

本論文は、ヴィアマテラス宮崎とバニーズ群馬 FC ホワイトスターの 2 チームを比較対象とし、「なでしこリーグ 1 部」における得点分析を行った。2011 年のワールドカップ優勝以降、国際大会での成績が低下しておりその要因の一つとして得点力不足が挙げられる。なでしこリーグの歴史を振り返ると、女子サッカーはリーグ設立以来着実に発展してきたが、近年の競技レベル向上に伴い得点の質や戦術が重要視されるようになった。

分析の結果、ヴィアマテラス宮崎はオープンプレーからの得点が 74%を占め、バニーズ群馬 FC ホワイトスターは 67%であり対照的な戦術を持つ 2 チームは得点者のポジションや得点に至る攻撃の開始位置にも明確な違いが見られた。

このように、得点に至るプロセスや戦術の違いを明らかにすることで今後の女子サッカーの発展に大きく影響していくと考える。